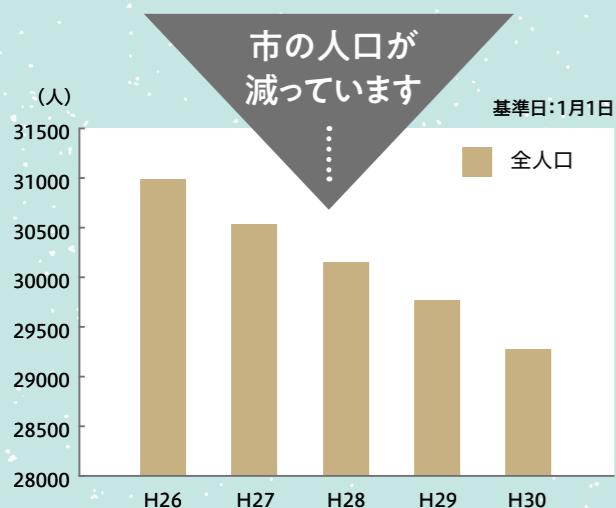


『外国人市民と日本人市民が互いの違いを認め合い、支え合うまちづくり』を基本理念として、2013年3月に策定した『安芸高田市多文化共生推進プラン』から5年が経過し、これまで人権多文化共生推進課の設置や日本語学習支援等多くの施策を事業化してきました。市では、少子高齢化や人口減少に伴う労働人口の減少など、様々な課題を解決する一つの施策として、さらに2018年3月『第2次安芸高田市多文化共生推進プラン』を策定しました。「誰もが安心・安全に暮らし、活躍できる地域づくり」を目指して、各種施策に掲げた事業を着実に実行していきます。

## なぜ今、多文化共生が必要なの？



2014(平成26)年30,983人であった市の人口は、2018(平成30)年には29,273人となり、5年間で1,710人の人口減となっています。今後もこのような人口減が続くことが予想されます。

人口減少の危機感

- 工場や企業が撤退する
- 介護できる人が不足する
- 農地が荒れる
- 地域の活力が落ちる

人口減少に歯止めをかけなければなりません

解決策の一例として、Uターン促進や外国人の受け入れなどがあります

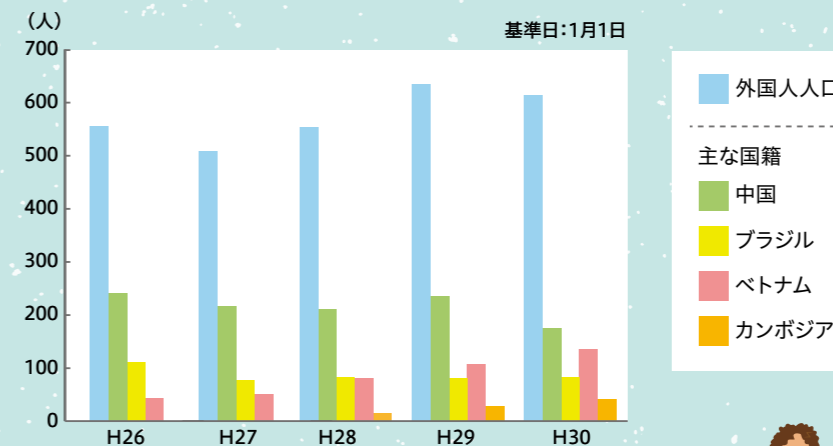
ますます多文化共生の必要性が高まっています！



# 第2次 安芸高田市 多文化共生推進プラン が策定されました！

## 多文化共生とは？

日本に住むすべての人が、国・地域・民族・人種・宗教・言葉・歴史観などの違いにとらわれることなく多様性を持って、一緒に暮らす地域の一人として互いが大切にされ、同じ立場の関係を続け、まちづくりに参加できることです。



日本人人口が毎年減少する中、外国人市民の割合は、2014(平成26)年1.79%(555人)から2018(平成30)年2.09%(613人)と、増加しています。



## 第2次安芸高田市多文化共生推進プランの体系

### 多様な市民による持続可能なまちづくり

安心・安全に暮らし、活躍できる地域づくり				
子どもたちの学習支援	日本語教室の充実	多言語学習機会の充実	地域コミュニティでの共生促進	緊急時と災害時に安心できる体制の構築
外国人児童生徒に対する総合学力支援事業 母語教育支援事業 外国につながる子どもたちへの多文化共生授業の開催	日本語学習支援体制の確立 養成講座の開催	多様な市民が理解しやすい「やさしい日本語」学習の充実	互いに学び合う場の拡充 外国人市民が地域行事、振興会、PTAに参画しやすい地域づくり	外国人市民の消防団への入団促進 医療通訳の連携 災害時 外国人支援マニュアルの整備 地域における防災訓練への参加啓発

すでに安芸高田市には、20か国600人以上の外国人が住まわれています

移住・定住したくなる魅力的な地域づくり		
担い手の育成	起業・就労支援による地域経済の活性化	まちの魅力の発信
人材交流のできるパートナー確立 外国から高校留学受入促進	外国人雇用促進体制づくり 国内外からの定住外国人人材確保	多言語によるまちの魅力発信 多言語によるまちの魅力発信 多様な市民によるまちづくりの魅力発信事業 (多文化共生サミット)